

緑の宝



2016
新年号
No.63



茶臼岳からの早朝の富士山

目次

高林会長新年の挨拶	2
川勝知事新年の挨拶	3
特別支援学校 緑の保全事業	4
都市緑化樹木育成講座	6
東部支部 知識・技能研修会	7
第39回全国育樹祭	8
第32回全国都市緑化あいちフェア	9
ナラ枯れ被害対策	10
三保の松原 神の道、静岡県造園施工管理技士会第30回総会	12
景観賞審査、第3回静岡県景観セミナー	13
まちづくり2015 ふれあいイベント、静岡県知事褒章	14
庭に小鳥を呼ぶ	15
会員名簿	16



公益社団法人
静岡県造園緑化協会会長

高林 久雄



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日ごろから当協会の運営にあたりましては多大なご協力とご支援をいただき、心より厚くお礼を申し上げます。

昨年の年頭のご挨拶で、私も公益社団法人 静岡県造園緑化協会が地域にどんな貢献ができ、どんな活動が必要とするか、また我々協会が発展するにはどうすればと、皆様と共に考え進みたいと申しました。振り返ってみてどうだったでしょうか。



図芸市でのパンフレット配布



緑の相談所開設

会員の皆様が各々のお立場で活躍していただいた結果、協会が県民に与えたインパクトも決して小さな物ではないと思います。「緑の宝」の夏号を改めて読み返すと、研修会や勉強会を通して知識・技術の向上に努め、また地域に様々な啓発活動を仕掛け、緑に親しんでいただいています。本当にありがたく思います。こういった地道な、そして継続していく活動がやがては大きな実となっていくものと、信じて疑いません。

そして迎えた新しい年。私たちにどんなステージが用意されているのでしょうか。情報を共有し、補い合い、また切磋琢磨し競い合っていく、そんな力のある協会、会員になっていきたいと思えます。

本年も関係官庁、関係団体の皆様のご指導、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。会員皆様のご発展をお祈りし、新年のご挨拶といたします。



静岡県知事

川勝 平太



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、清々しく新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

また、日頃から本県の緑あふれる豊かな暮らし環境の創造に御尽力いただき、厚くお礼申し上げます。

近年、都市緑化の充実に伴い、街路樹等の適切な管理が課題となっておりますが、貴協会は樹木管理技術を学ぶ講習会を毎年開催されているほか、昨年からは県内の特別支援学校において、樹木整備作業等の指導を新たに実施されていると伺っています。貴協会の課題解決に向けた積極的な取組に、深く敬意を表します。

昨年三月、貴協会と本県は災害時応援協定を締結しました。本県が県民の皆様生命、財産を守るべく、危機管理体制の強化を図っている中、このような形で御賛同を頂き、深くお礼申し上げます。県では、今後ともこの協定がより有意義なものとなるよう、連携体制の強化に努めてまいりますので、引き続き御協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年は、伊豆の国市の荏山反射炉が「明治日本の産業革命遺産」として世界遺産に登録されました。本県には、世界に誇れる名所が各地に存在しています。本県を訪れる皆様におもてなしの心をお伝えするためには、背景にある土地の風土や歴史・文化と共に、それぞれの名所を含めた地域の景観を大切に保全しつつ、その土地の自然と調和する美しい景観を創造、保全していくことが重要です。県といたしましては、県民の皆様や緑化団体の方々と連携し、誰もが自分の住む地域に誇りと愛着を持ち、心豊かに暮らすことができる「住んでよし、訪れてよし」の理想郷「ふじのくに」を目指して、今後も各種施策に積極的に取り組んでまいります。

本県を花と緑の潤いのある魅力的なものにするためには、専門技術を持った貴協会のお力添えが欠かせません。会員の皆様におかれましては、今後とも御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と会員の皆様の御健康と御活躍を心からお祈りし、新年の御挨拶といたします。

特別支援学校緑の保全事業

静岡県造園緑化協会では、公益事業として、平成二十七年年度から特別支援学校の緑化をお手伝いすることになりました。

県内の特別支援学校は視覚、聴覚、知的障害など本校二十五、分校十四、分教室一があり、幼稚園、小学部、中学部、高等部などに四千八百人を超える生徒がいます。

各学校では、児童生徒一人一人の持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するための、適切な教育や必要な支援を行っています。



生徒さんが作った工芸品

本年度は、東部地区では沼津特別支援学校、中部地区では静岡北特別支援学校、西部地区では浜松特別支援学校で取り組みを始めました。

事業は二つです。一つは、生徒の緑化指導です。花壇づくりや樹木の剪定などを指導します。もう一つは、学校の職員や業務員さんなどが対応できない大きな木の剪定や消毒など会員が協会事業として実施します。



生徒さんが整備した花壇

沼津特別支援学校

沼津特別支援学校では、平成二十七年十月八日に第一回目を実施しました。

当協会からの指導者は、藤原造園の藤原正巳さんと園大志建設の杉澤研三さんです。

二班に分かれて、花壇作りとプランターづくりを行いました。花壇にはシクラメン、パンジー、ナデシコ(ストロベリーパフェ)を植え、プランターにはシクラメン、パンジー、カスミソウを植えました。秋山副校長をはじめ事務長ら教職員が十人近くお手伝いしてくれました。

生徒は、土づくりや花壇づくりになれている子もいて、一時間くらいできれいに出来上がりました。作成したプランターは学習発表会のステージに展示されるそうです。



作ったプランターの前で記念撮影



みんなで花壇づくり

静岡北特別支援学校

平成二十七年十月二十八日、静岡北特別支援学校で緑化の支援を行いました。

小学部では寄せ植え作りのお手伝いを当協会の中部支部が実施しました。指導したのは南飯田庭園の飯田泰季さん、望月さん、堀川さんの3人です。寄せ植えはキンギョソウ、パンジー、ノースポールの苗と、クロッカスとムスカリの球根を植えました。

中学部ではたい肥を作るお手伝いをしました。グラウンドの周囲に生えているサクラなどの落ち葉を集め、たい肥箱に運び入れました。たくさん落ち葉と米ぬかをサンドイッチにして足で踏みつけました。一年後にはよいたい肥になって、学校の緑化に役立つことでしょう。



手分けして落ち葉集め



寄せ植え作り

浜松特別支援学校

平成二十七年七月八日、浜松特別支援学校で第一回を実施しました。

高等部のメンテナンส์班の生徒たちと校内の樹木の剪定作業を行いました。指導したのは西部支部長の南永井造園の永井慎吾さん、南江間種苗園の江間正章さん、南三宝園の田旗桂太さんです。慣れない剪定ハサミや刈り込みハサミの作業で最初はとまどっていました。次第にベースが上がり、予定した箇所はすべてできました。

第二回目は十月七日に行ないました。指導者は南永井造園の永井慎吾さん、南昭花園の寺田祐一郎さん、市川造園の市川明広さんです。生徒は四人で、前回も剪定を経験しています。刈り込み鋏を使って、中庭の草刈りとハマヒサカキ、ツツジの剪定を行いました。途中、休憩をはさんで二時間の実習を行いました。



はじめはハサミが上手に使えない



切った枝葉を集めるのも勉強

都市緑化樹木育成講座 花と緑の魅力あるまちづくり連絡会議第二回講習会

平成二十七年七月十日、三島市で都市緑化樹木育成講座「花と緑の魅力あるまちづくり連絡会議第一回講習会」を三島市の文化会館と楽寿園で開催しました。講師は、昨年に続き、千葉大学園芸学部特任助教の細野晋央氏です。

テーマは「倒木・落枝事故から学ぶ街路樹のリスクマネジメント」です。県・市町の担当者、さくら保護士、本協会の会員など三十四名が参加しました。

三島市が会場ということもあり、東部地区の参加者が多く、皆さん熱心に受講しました。



倒木事故の法律的な面も含めて講義



実習の前に虫よけスプレー



銅棒で地際を突いてみる



木槌でたたいて空洞をさぐる



幹を押してみる



樹木診断の結果の発表

平成二十七年東部支部 知識・技能研修会

平成二十七年十一月十三日に沼津市のプラサヴェルデで平成二十七年東部支部知識・技能研修会が開催されました。

講師は静岡県農林技術研究所芝草研究所の研究主幹 池村嘉見氏で「芝生の適正管理及び普及について」と題した講演をいただき、会員二十一名参加しました。



講演する池村嘉見氏

池村氏は「見る芝生から使う芝生へ」という考えで、使う芝生の管理には施肥が大切で、特に窒素が重要だということ forcefully されました。

園庭や校庭などで芝生の生育が悪い原因の第一は窒素不足だそうでした。

窒素肥料により、

・芝の葉の色が濃くなる

・芝が成長する

・芝の密度が高くなる

・潜在的回復力が上がる

ただし、芝種・品種、利用方法によって適正な窒素量が違うことをこれまで

の研究により明らかにしています。

本来は企業秘密と考えられる年間

窒素量についても紹介がありました。

コウライシバに関しては、表よりも

少ない年間窒素量平米五グラムから

維持可能とのことでした。

講習会では施肥量の計算や施肥設

計の実習を行いました。

窒素の必要量が年間三十グラムな

のに肥料の量と間違えていた事例も

あるそうです。

また、一回の刈り込みで三分の一以上の芝を刈り込まないこと、刈カスを残す「グラスサイクリング」について教えていただきました。肥料の節約、刈カス処理の費用の削減ができます。

例年、磐田市にある研究所で開催されている芝草管理講座では、さらに詳しい内容が聞けるそうです。

年間窒素量の目安 (使わない一使う)

芝草	年間窒素量 (g/m ²)
暖地型芝草	
キクウグラス	10
シーショアパスパルム	10-40
セントオーガステングラス	20
ノシバ・コウライシバ	10-40
パッファローグラス	5-10
ハイブリッドバミューダグラス	20-60
寒地型芝草	
クレーピングベントグラス	15-30
ケンタッキーブルーグラス	20-30
コロニアルベントグラス	15-25
スズメノカタビラ	5-10
トールフェスキュー	15-30
ハードフェスキュー	5-10
ペレニアルライグラス	20-30
ラフブルーグラス	10-20
レッドフェスキュー	5-10

※ただし、造成1～2年目は、通常量の2～3倍が必要!

年間窒素量の割り振り

季 節	施肥(窒素量) %				
	暖地型芝草		寒地型芝草		
	通常	WOS	通常	ペンクロス	ニューベント
春 (3～5月)	35	25	10～20	20	10
夏 (6～8月)	50～55	45	10～20	10	20
秋 (9～11月)	10～15	15	40～75	40～75	40～75
冬 (12～2月)	0	15	0～30	0～30	0～30

芝草管理講座

- ・年 3日の講義
- ・定員 30名
- ・費用 無料
- ・場所 農林技術研究所 (磐田市)

28年度が最後になるそうです。詳しくは来年度に公益財団法人静岡県グリーンバンクへお問い合わせください。

第三十九回 全国育樹祭に出席しました

十月十一日(日)、手から手へ 豊

かな緑で ぼくらの未来をテーマに、第三十九回全国育樹祭が岐阜県の谷汲緑地公園(揖斐川町)にて開催され、式典行事に出席しましたので、開催の様子を報告します。

全国育樹祭は、昭和三十二年に当時の谷汲村(現 揖斐川町)で開催された全国植樹祭にて、昭和天皇と香淳皇后が植樹されたスギを昭和



皇太子殿下のお言葉

五十一年に現在の天皇、皇后両陛下が視察されたことを機に、翌、昭和五十二年、大分県で開催されたことが始まりです。

そして、今年、全国育樹祭のきっかけとなった当地で、皇太子殿下をお迎えし、全国育樹祭が開催されました。

式典に臨席された皇太子殿下は、「森林を守り育て、次の世代へ引き継いでいく活動の輪が、大きく広がっていくことを切に願います。」と挨拶されました。

これに先立ち、皇太子殿下は、揖斐川町内の森で、全国育樹祭のお手入れ作業としては初めて間伐作業を行われ、昭和天皇と香淳皇后が植樹された樹木付近のスギに鋸をお入れになりました。

会場には、岐阜県内で伐採された樹齢百年を超えるスギやヒノキの大本が展示されました。この大本は、

森林を守り育てることの大切さを啓発するため、県内五箇所で伐採され、木曳車で全市町村をリレーしたとのこと。関連事業から、当日の式典に至るまで、育樹祭全体を通して、世代を超えて受け継がれる森づくりが表現されていました。

また、式典では、緑化功労者の表彰が行われました。本県の「特定非営利活動法人時ノ寿の森クラブ」が、全国育樹活動コンクルールの林野庁長官賞を、「静岡養ライオンズクラブ」が「ふれあいの森林づくり」表彰の国土緑化推進機構理事長賞を受賞しました。

静岡県では、県民の皆様の参加による森づくりを推進するため、森づくり団体の方々と連携して、森づくり県民大作戦を実施しております。

今年度からは、県民の皆様が森づくり活動に参加する機会を増やすため、春と秋のみの開催から、通年へと実施期間を変更するなど、内容のリニューアルを行いました。

先代から受け継いだ豊かな森林を

次世代に引き継ぐためには、今後も県民の皆様のお力添えが必要です。今後とも変わらぬ御協力をお願い申し上げます。
(静岡県くらし・環境部環境局環境ふれあい課)



式典の様子

第三十二回全国都市緑化あいちフェア 「花と緑の夢あいち」

九月十二日から第三十二回全国都市緑化あいちフェア「花と緑の夢あいち」が十一月八日まで開催されました。

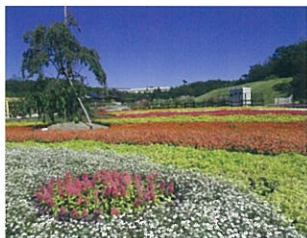
会場は長久手市にある愛・地球博記念公園です。広く全国の人々に、もっと「花」を愛し、もっと「緑」のチカラを知ってもらう、愛・知フェアとして開催しました。

暮らしの中の緑にどう浸透したかを発信するフェアとするともに、花や緑のすばらしさが実感・体験できるフェアです。



鏡の中の花畑

鏡を使ったトリックで、前面の花壇を鏡に映しだすことにより、花畑が空まで続いているような空間を演出



花の棚田「あいちの花 百花繚乱」

「あいちの花 百花繚乱」をコンセプトに、あいちの花 100% で彩る大きな花壇。花壇の主役となる花は期間中 2 回の植替えをする。



水辺のエリア

25 の自治体が花壇を出展し、それぞれの自治体の魅力を伝えます。各自治体から提案された個性あふれた花壇を展示



農のエリア

田畑や果樹園などの農業体験ができる里山実験フィールドとして親しまれ、農の風景を感じることができる「あいちサトラボ」をベースに、コスモスなどを植栽し、花のある農風景を創出



記念植樹

10 月 1 日に開催された平成 27 年度全国都市緑化祭にご臨席された秋篠宮殿下、妃殿下が愛知県の木の「ハナノキ」を植樹

ナラ枯れ被害対策

ナラ枯れは正式には「ブナ科樹木萎凋病」といいますが、一般的には「ナラ枯れ」や「カシノナガキクイムシ被害」と呼ばれています。

枯らすのは「ナラ菌」というカビの一種で、それをカシノナガキクイムシ（以下、「カシナガ」）が運びます。メスの背中には丸い穴（菌囊）があつて、ここにナラ菌を入れて運びます。



孔内で成長・羽化したカシナガの成虫は、主に翌年の六月から八月に脱出します。この際、ナラ菌が持ち出されます。羽化脱出したカシナガは、健全なナラに飛来して、集合フェロモンによって集中的に穿入します。ナラ菌が感染した部分の細胞が死めると、通水障害を起こします。この結果、多くのナラは七月下旬頃から八月中旬にかけて葉が変色し、枯死に至ります。

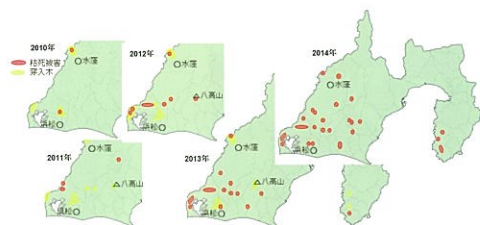


ナラ枯れは放置すると倒伏や枝の落下の恐れがあり、広範囲に枯れると景観へのダメージもあります。静岡県内で盛んなシイタケ生産の原木への被害も懸念されます。造園業界としては公園などの樹木被害が関係しそうです。



ナラ枯れ被害はブナ科樹木に限られますが、樹種によって異なり、カシナガが好むのはコナラとミズナラ、マテバシイです。ミズナラでは七八割が、コナラ、マテバシイでは二〜三割が枯死します。クヌギ、ウバメガシ、アラカシなども穿入を受けますが、枯死するのは少ないようです。また、枯死しても乾燥しにくい太い木を好むので大径木が被害に遭いやすいそうです。



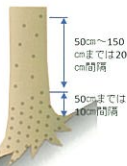


全国的には日本海側を中心として一九七〇年代からゆつくりと被害が拡大し、二〇〇〇年代に入ると太平洋側にも広がりました。二〇一〇年には被害材積が最大となりましたが、その後、沈静化に向かっています。

しかし、静岡県では増加しており、二〇一〇年に浜松市の二箇所(天竜区水窪町、東区)で初めて見つかったからは、二〇一一年には天竜区春野町や島田市八高山、二〇一三年には磐田市、袋井市、掛川市、二〇一四年には島田市の大井川左岸側や伊豆半島の松崎町、西伊豆町まで広がりました。

ナラ枯れは、松くい虫被害防除のための空中散布のような面的な防除方法が確立していません。そのため、初期段階での防除が非常に重要です。防除には駆除と予防があり、よく行われる駆除には、伐倒駆除と立木処理があります。伐倒駆除には破砕とくん蒸があり、破砕する場合はチップの厚さは1cm以下にします。処理は五月末までには終わらせます。くん蒸は穿入がある部分を集積し、NCSでくん蒸します。材には切れ込みを入れ、シートの端はガスが漏れないようにします。

立木処理-くん蒸



くん蒸期間は十四日間とし五月までに終わらせます。なお、破砕の場合も根株はくん蒸する必要があります。

立木処理にはくん蒸と粘着シートがあります。くん蒸は穿孔の多い一、五m以下の部分にドリルで穴をあけNCSを注入し燻蒸します。粘着シートはガンカッターで固定します。六月上旬ごろに施工します。

予防方法には、殺菌剤注入、シート巻き、カシナガラップなどがありますが、それぞれ一長一短があるので、被害を見つけたら、県庁森林整備課、森林・林業研究センター、農林事務所に連絡して欲しいとのことです。

三保松原 神の道 亀裂の入ったマツを伐採

〔平成二十七年十月三十日、三保の松原の神の道で見つかった亀裂の入った「龍の松」を伐採しました。当協会が受託し中部支部の飯田庭園が実施。神事を行ってから、高い枝を高所作業車とクレーン車を使って切りました。〕



高所作業車とクレーンで伐採



テレビカメラがたくさん



神事を行ってから作業

静岡県造園施工管理技士会 第三十回通常総会

平成二十七年七月二十四日(金)に「呉服町ビル四階会議室」で標記総会が開催されました。出席者は十五名、委任状は五十八名です。

提出議案

第一号議案 平成二十六年度事業報告書、収支計算書等承認の件

第二号議案 取引銀行指定の件

第三号議案 役員選任の件



冒頭挨拶する望月会長

及び附帯決議案について諮り、質問、意見がないことを確認の上、賛否を問うたところ、賛成拍手多数であることで原案のとおり承認した。

議事終了後、ランドスケープアーキテクトチャーの榎原八朗氏が「高齢化に伴い造園が社会に果たす役割について」講演した。



講師の榎原八朗氏

景観賞審査

平成二十七年九月十一日、審査が行われました。

○民間施設部門

San Grains tea & garden cafe

○公共施設部門

静岡県草薙総合運動場体育館「このはなアリーナ」

○まちなみ部門

豊田佐吉記念館

○田園・農山漁村部門

箱根西麓に広がる畑のキャンパス

○景観づくり部門

坂口谷川環境美化活動

最優秀賞には「このはなアリーナ」が選ばれました。



最優秀賞
静岡県草薙総合運動場
体育館
「このはなアリーナ」



景観づくり部門
坂口谷川環境美化活動



まちなみ部門
豊田佐吉記念館

第三回静岡県 景観セミナー

平成二十七年十月九日、沼津市の

ブラサヴェルデで開催された第三回

静岡県景観セミナーに出席しました。

東京大学先端科学技術研究セン

ター所長の西村幸夫氏が「歴史的資源

を核とした景観まちづくり」と題した

講演を行いました。



講師の西村幸夫氏

京都府舞鶴市の東舞鶴地区では旧海軍の倉庫など赤レンガの建物を活用したまちづくりを行い、赤レンガ博物館を開設したり、赤レンガシンポジウムを開催して、全国の赤レンガマニアを魅了しています。

東舞鶴では赤レンガの巨大な建物がたくさんあって、市民には当たり前のように光景でしたが、横浜市の赤レンガを活かした取組を見学して、市内の埋もれていた赤レンガ建造物を探し出しました。

新潟県村上市では、市民が始めた町屋造りを活かした商店の復活に人気が高まってきました。家にあるひな人形などを展示して見せる「人形さん祭り」や「屏風祭り」などを開いています。これらの取組で観光客も来ましたが、一番の変化はお年寄りたちが人形の解説などで生き生きとしてきたことで町全体が活性化してきたそうです。

「まちづくり二〇一五 ふれあいイベント」

平成二十七年九月五日、静岡市葵区の青葉緑地フェスクエアで建産連の「まちづくり二〇一五ふれあいイベント」が開催され、当協会も参加し花苗（アイビー、ドラセナなど観葉植物やペパーミント、レモンバームなどハーブや緑化関係パンフレットを配布しました。会場ではほかに不思議なコンクリート実演、パワーショベル実演、風船配布など実施しました。



パワーショベルの実演



花苗の配布



天気恵まれました

静岡県知事褒章

平成二十七年九月十七日（木）、静岡市産業交流センターにおいて、静岡県と（一社）静岡建設産業団体連合会の共催により、平成二十七年建設産業構造改善のつどいが開催されました。当協会からは富士市の（有）常華園の渡邊正俊氏が平成二十七年静岡県優秀施工者知事褒章を授与されました。



県交通基盤部理事 村松 篤氏



平成 27 年度静岡県優秀施工者のみなさん



（有）常華園の渡邊正俊氏

庭に小鳥を呼ぶ

冬になると野鳥たちが餌を求めて家の近くまでやって来ます。小鳥たちを惹かながめていると、なんだかとても癒されます。最近ではバード・セラピーとも言っています。

私の庭では、メジロ・シジュウカラ・ヒヨドリ・ジョウビタキ・シロハラ・キジバト等が来ます。

そんな野鳥のためにバード・バス(野鳥が水浴びをしたり水を飲むための台)やバード・フィーダー(野鳥の餌台や餌やり器)を置きます。

シジュウカラはヒマワリの種が大好き。メジロは甘党でみかん等の果物。ヒヨドリはなんでも食べます。ただし、しばしばエサ台を独占して他の鳥を追いつつしまふ、やっかいものでもあります。

鳥の水場は、鳥が餌場にいる時よりもっと無防備になる所です。鳥自身もそれを知っているのだから、安全が保障されている所にしかやってきません。ですから、できるだけ見通しのよい明るい場所に設置したいものです。

鳥にとって樹木は、エサにもなり、棲み家にも隠れ家にもなる大切なものです。特に食料としての木の役割はとても重要です。花や蜜を食べることもあります。が、なんといっても実のなる木が一番です。



キジバトの水浴び



スズメの砂浴び



餌台のヒヨドリ



ジョウビタキ



メジロ



シジュウカラ



ヤマガラ

★餌を与える時期は、自然の餌が乏しくなる冬に限りましょう。そして量は、「ひかえめに」が原則。ただし一度鳥が覚えて餌をあてにしているようになつたら、常に置いてあげます。

春になったら餌を置くのはやめます。野鳥本来の生活を尊重しましょう。バード・バスは常に清潔に管理します。

★猫の飛び上がれないようにエサ台は一・五メートル位の高さが必要です。

★最初は根気よく待ちましょう。新しく置いたエサに気付かず、慣れ、安心して寄つて来てくれるまでには時間がかかる場合があります。鳥が来ていないようでも、餌や水は定期的に取り替え減り具合を良く観察しましょう。

★鳥が多いと困るのがフンの問題。物干し台の近くに餌場を作るのは、考えものです。

公益社団法人静岡県造園緑化協会

会員名	所在地	電話番号	会員名	所在地	電話番号
株愛樹園	東伊豆町	0557-23-0648	加藤造園株	焼津市	054-628-3235
木村造園株	東伊豆町	0557-23-1635	原田造園株	焼津市	054-624-2610
株伊豆急ハジメ	伊東市	0557-53-2166	良知樹園株	焼津市	054-624-1355
株広野園	伊東市	0557-37-3028	南富士造園	焼津市	054-624-4007
株植澤	伊東市	0557-45-0040	南杉村造園	焼津市	054-624-4030
藤原造園株	熱海市	0557-81-4240	南樹晃園	焼津市	054-624-8941
西村造園株	熱海市	0557-82-7424	株中部緑化建設	焼津市	054-629-1610
南伊豆植物園	伊豆の国市	0558-76-1564	南大石造園	藤枝市	054-643-7282
大島造園土木株静岡営業所	裾野市	055-997-2775	南太陽造園	藤枝市	054-641-4076
株富士見園	長泉町	055-986-6567	紅林造園	藤枝市	054-635-7256
南正翠園	長泉町	055-986-3199	株特種東海フォレスト	島田市	0547-46-1551
株大樹造園	御殿場市	0550-83-9767	南岩本造園	吉田町	0548-32-2507
株植正園	沼津市	055-921-0945	南松浦造園	吉田町	0548-32-8887
南緑香苑	沼津市	055-931-0408	株雄樹園	御前崎市	0537-86-2684
株大志建設	沼津市	055-923-1128	田旗造園建設株	掛川市	0537-22-5951
株翠石園	富士市	0545-71-2236	株植庭庭苑	掛川市	0537-24-5577
株大松園	富士市	0545-52-5220	株三宝園	掛川市	0537-24-4128
南常葉園	富士市	0545-35-0163	南小澤造園	掛川市	0537-22-9052
南翠光園	富士市	0545-36-2020	南松月園	森町	0538-48-6431
株望月庭園	富士市	0545-21-5195	南山本造園	袋井市	0538-48-6592
南やまもと園芸	富士市	0545-38-1958	株片桐造園建設	袋井市	0538-48-7884
天野園芸株	富士市	0545-81-0655	株ハッパ代造園	袋井市	0538-43-4355
株共立	富士市	0545-85-1213	トヨタ緑産株	袋井市	0538-44-0400
南小林造園	富士宮市	0544-24-4533	株庭 仁	磐田市	0538-35-5528
赤池造園株	富士宮市	0544-24-3568	株植 勘	磐田市	0538-34-3030
株佐野緑化	富士宮市	0544-27-2825	株浮月園	磐田市	0538-38-0529
株双葉グリーン	富士宮市	0544-26-3138	南永井造園	磐田市	0538-38-0500
株岳陽グリーン	静岡市清水区	054-385-5034	南福垣造園	磐田市	0538-38-1901
南丸福造園土木	静岡市清水区	054-375-2115	南松島園	磐田市	0538-38-0790
源平造園建設株	静岡市清水区	054-366-5525	南大東園	磐田市	0538-34-4163
株小澤造園	静岡市清水区	054-353-3774	株東豊グリーンメンテナンス	磐田市	0538-32-0018
駿河緑地造成株	静岡市清水区	054-351-2555	南昭花園	磐田市	0538-55-3392
有森荘造園	静岡市清水区	054-345-3859	南東海ガーデン	磐田市	0538-32-5025
木下造園株	静岡市清水区	054-334-0757	株江間種苗園	浜松市中区	053-471-1727
不二見造園土木株	静岡市清水区	054-369-2515	株庭 明	浜松市中区	053-453-3311
春長園緑化株	静岡市葵区	054-246-7512	株庭 勘	浜松市中区	053-455-3980
株ひかり造園	静岡市葵区	054-253-6508	みどり園株	浜松市中区	053-456-1165
株森 造園	静岡市葵区	054-253-4659	南太陽造園土木	浜松市中区	053-455-4007
静岡観葉株	静岡市葵区	054-261-2094	株エンター	浜松市中区	053-435-8585
有顔庭園	静岡市葵区	054-245-0513	株大瀬造園	浜松市東区	053-434-1907
株藤浪造園	静岡市葵区	054-245-9870	天龍造園建設株	浜松市東区	053-421-1180
株静岡緑地建設	静岡市駿河区	054-669-9113	赤堀産業株	浜松市東区	053-434-4332
株理研グリーン	静岡市駿河区	054-283-5555	大協造園緑化株	浜松市西区	053-592-4500
株西野造園	静岡市駿河区	054-283-3131	ナイス緑地株	浜松市西区	053-485-4631
ソーアイ造園株	静岡市駿河区	054-282-7971	市川造園株	浜松市南区	053-449-4646
株小林土木緑化	静岡市駿河区	054-264-6499	大村造園建設株	浜松市北区	053-437-1128
株落合造園	静岡市駿河区	054-285-4928	五常園圃	浜松市浜北区	053-587-4838
株静岡グリーンサービス	焼津市	054-624-5593	南寿重植木	湖西市	053-579-0736

私たちは造園・緑化樹木の整備、育成技術の研鑽に努め、
公益法人として、様々な活動を行っています。緑のことお気軽にご相談ください。

- 造園・緑化相談などへの理解を深め親しんでいただく活動
- 緑化樹木の整備育成に関する技術研鑽と技術指導支援活動
- 災害時の応急復興活動・東日本大震災では震災直後に大垣町での瓦礫処理活動を実施
- 高齢求職者就労のための技術講習支援活動や高校生、大学生のインターンシップ受け入れ
- 環境や自然、樹木に関する調査活動や静岡県景観整備機構として景観形成活動

公益社団法人静岡県造園緑化協会

〒420-0031 静岡市葵区呉服町2丁目2番地

TEL 054-253-0586 FAX 054-251-9205 URL <http://www.midorinotakara.org/>

平成28年1月発行

編集 啓発労働委員会

監字 桑松文男氏



公益社団法人 静岡県造園緑化協会は、このふじのくにの森の町内会（森の会）と協力により、緑化に役立つ様々な関係者を資源として活用し、静岡県を豊かな森林づくりのサポーターとしています。